

## 製作企画書

【題名】 パワーバランス - 千鳥ヶ淵から始まるプロローグ -

原案 : Hiroshi kusu

### 『製作主旨』

【企画のベース】

新約聖書「マタイによる福音書 26章52節」

— すべて剣をとる者は、剣にて滅びる —

【製作の狙い】

本作品を多くの方々に観ていただくことによって、人間が有史以来、束縛されてきた「武器の力によるパワーバランス」を覆すことが出来る技術開発の重要性を、今を生きる全世界の多くの人々に伝えたい。

(アニメ：鉄腕アトムに憧れてロボット開発を始めた研究者が多いように)

# パワーバランス -千鳥ヶ淵から始まるプロローグ-

## 「あらすじ」

### 1. テロップ

<テロップ①>

新約聖書「マタイによる福音書 26章52節」

— すべて剣をとる者は、剣にて滅びる —

<テロップ②>

(タイトル)      **パワーバランス**

- プロローグ版 -

### 2. 総理大臣官邸の画像

総理大臣官邸の画像に重ねて、具体的な日付が、タイプのように打ち込まれる。

北村（電話の声）：治外法権である貴国（インド）の大使館の中では、お話できません。

出て来てください。

私は、青い車で、大使館の前にお伺いします。

### 3. インド大使館 【インド大使館の写真】

### 4. 千鳥ヶ淵、インド大使館前の道路

水素自動車「ミライ」を運転した北村が、千鳥ヶ淵のインド大使館の前に到着する。

大使館から、インド国、情報局長のサンジープ・カーンが出てきくる。

（サンジープの映像には、「インド国、情報局長」の文字が被る）

北村が「ミライ」から降りる。

（北村の映像に、「日本国 内閣調査室 対外課長」の文字が被る）

(千鳥ヶ淵のインド大使館の前で、ミライの傍らで、話し出す2人)

サンジープ : やっぱり君が担当で来てくれましたか。  
さすがに、技術大国の日本、水素自動車「ミライ」でお越しですか。

北村 : 確か、前回お会いしたのは、国連本部で、アメリカとウクライナの武器支援交渉が始まる前でしたね。

サンジープ : あの時も、情報を先に君に取られ恥をかかせていただきましたね。あーあ、思い出したくもない事を、挨拶代わりに言ってるもんだね。

(北村は反応しない。そこでサンジープが、ひと呼吸おいて)

サンジープ : お分かりの通り、今回は、今までで一番大事な話です。  
昨日、私達インド国が、君の国に送ったメッセージは、検討してくれているようだね、早速、君が来てくれたということは。

北村 : 君たちが送ってきた、この映像は拝見した。

北村が、手に持っているタブレットを開いて、映像を見せる・

## 5. タブレットに映し出される映像

部屋の中、1人の若い女性(アリサ)が映し出される。

影からの声 : では、やってみてください。  
(外国人が話す、たどたどしい日本語で)

アリサは、自分の数メートル前におかれているロウソクに向かって手をかざす。すると、ロウソクに火がついた。

## 6. タブレットの映像が切り替わり、インドの首相がアップとなる。

人物映像の下に、「インドの首相 ガルグ」と文字が被る。

ガルグ首相（英語：日本語字幕付き）

：観ていただいた通りです。

このロウソクが、敵国の核兵器だったら！

分かりますよね。

この力を使えば、核兵器を持っている方が、やられてしまいますよね。

この力は、「武器を持った人が負ける」、今までの人類のパワーバランスが、根底から代わる力です。

インドは、長年、この力の研究を続けてきました。

やっとこの力を見つけました。

それが、あなたの国のこの女性の持っている力なのです。

我が国のA Iの力をフルに使って、この力をコンピュータで再現できるようにします。

完成すれば、敵の核兵器をこちらから爆発させられる「平和の武器」が完成する事になるのです。

既に、この人女性のご協力の承認はいただきました。

あとは、この人が無事に、ムンバイに到着するのを、楽しみに待っています。

出国で面倒なことにならないことを、日本国にお願いしたいと思います。

その見返りと言っては何ですが、この力をA Iで再現できた時には、

インドは、平和憲法を持つ、及び、素晴らしい技術力を持つ日本国と協力して世界の平和に貢献したいと考えています。

アメリカではなく、日本とね！

我ら2カ国で、人類の新しい時代を創りましょう。

私たちの素晴らしい未来を。

## 7. 千鳥ヶ淵、インド大使館前の道路（ミライの傍ら）

北村　：　何故、わざわざ、ご連絡をいただいたのですかね？

サンジープ　：　日本とインドは、ずっと長いお友達でしょ。

これからも、ということでエチケットとしてお伝えしたまでです。

北村 : 僕には隠しこなしですよ。

分かってますよ。アメリカが気付く可能性があるんでしょ。

無事に出国させたい。その上、この段階で伝えておけば、後々の味方に引き込むことも出来る。日本語で言う、「一石二鳥」ですか。

サンジープ : 正解！

アメリカが気が付くのは、早ければ、数時間だとAIが予想しました。

しかし、念のために、ボディガードに、日本の武道チャンピオンでも彼女に付けていただきますでしょうか。

北村 : よく言いますね。情報は入ってますよ。

彼女の乗る飛行機には、ダライラマが乗るんでしょ。

流石に、ダライラマが乗ってればどの国も攻撃しにくい。

「ダライラマを使った人間の盾」ですか。

やりますね。前代未聞の作戦ですね。

サンジープ : 流石、北村。

連絡から1時間で、全て、よく把握出来てますね。

それなら、話が早い。

彼女に手を出すな。

普通の観光客として、無事に出国させるだけでいいんだ。

それで、インドと日本が、これからの世界の中心になるのだから。

今、彼女は成田空港に向かうバスの中かな。

## 8. 成田へ向かうバスに、楽しそうに乗り込むアリサの姿

## 9. 千鳥ヶ淵、インド大使館前の道路（ミライの傍ら）

北村 : 正式に日本国として、伝えます。

先程、総理が、急遽、特別閣議を招集しました。  
今、始まった頃です。  
結論が、もうすぐ、ここに来るでしょう。(スマホを見せる)

それと、分かっていますよ。  
今、彼女は確かに楽しそうにバスに乗っています。

でも、あなた方は、1つ大きな嘘を付いている。  
彼女が協力することを承諾したって？  
これも、話したんですか。  
(北村が、女性の死体の写真を見せる)

以前、協力した、エジプトの女性は、実験の最中に死亡した。  
旅行中に、ガンジス川で水死体で発見されたということになってます。  
確か、何かの事故で死亡したと新聞に小さく載ったようですね。

サンジープ : あれは不幸な出来事でした。  
世界平和の為には、少しの犠牲は仕方がないと思わないか。  
人類のパワーバランスが代わるための尊い犠牲だよ。

しかし、我が国は、前のような事を繰り返さないために、こんな自動車  
が創れる技術大国である日本とご一緒に研究したいと、我が国は強く  
オファーしているのです。

日本にとっても、悪い話ではないと思いますけどね。

10. 成田へ向かうバスの中の、楽しそうなアリサの姿(動画)の中に  
首相が招集した会議メンバーの「写真とコメント」(静止画)が、順番に被っていく。

●キリスト教の神父

聖書にあるキリストの言葉、『剣を持つ者はみな、剣で滅びる。』という時代が、遂  
に到来したのだと思います。

●物理学者

この力は、今は、超能力と言われる類のものです。しかし、けっしてオカルトや宗教的な力ではありません。アインシュタインやエジソンといった偉人たちも、このような不思議な力を研究してきました。

きっと 100 年後には、説明が出来るようになっていると考えます。

●経済学者

まず考えるべきは、世界の軍事産業の売上がいくらあるのかです。

武器が要らなくなる事は、どれだけの人の利益、雇用、給料がなくなるか、その利権者からの、攻撃や妨害を考えただけでも怖いですね。

●防衛省の幹部

この力で、核兵器を持った国の脅威がなくなる、ということは大変喜ばしい。

この力を我が国も持ち、新しい世界の中心となる。いいことだと思います。

研究段階から、我が国も参加すべきと考えます。

●政治学者

武器だけでなく、相手にある危険物をも爆発させられるという事ですね。

といことは、誰かが善悪を判断し、悪と判断した場合は、相手の持っている物を爆発させる、ということですか。 この判断をする国の代表者が、現代の『神』になる、ということですか。

●内閣官房長官

「兵器によるパワーバランスで平和が保たれるという時代を越え、新しい武器によるパワーバランスが出来あがる、とも解釈できます。

そして、この新しい武器は、自分の国の発電所や燃料なども、自分が攻められる武器に代えられてしまうという事か。 なんともはや・・・

●仏教の高僧

禅の施無畏（せむい）とは、「何かを恐れている人に、恐れなくて良い」と言って、安堵を与える、という意味の言葉です。

まさに、この力は、世界中の人々を、武器の恐怖から開放してくれる「施無畏（せむい）」でしょう。

もう1つ、禅には『無功德（むくどく）』という言葉もあります。  
無功德（むくどく）とは、「これをやったら何の得になるの、ということを考えない」という意味です。  
この言葉の意味するように、得することを考えずにこの力を使えば、戦いの武器のない時代が来て、全ての世界中のひとりひとりが、生きて『神』に近づける時代が来るのではないのでしょうか。

## 11. 千鳥ヶ淵、インド大使館前の道路（ミライの傍ら）

サンジープ : これからの人類の平和にとって必要なのは、相手の危険な武器を爆発させて、相手を倒す技術さ。

これがあれば、誰も武器を持たなくなる！

武器ではない平和の技術で、平和を維持する時代がやってくるのさ。

ここまで核兵器のような武器が進んだ今からは、「技術で平和を守る、これしかないんだ。」 分かるだろ。

北村 : 技術で平和を維持する時代？

たしかに可能性はある。しかし、完成するまでに・・・

サンジープ : あなたの国の多くの戦没者が眠る、この千鳥ヶ淵で、この話をするのも、何か運命を感じないかい！

この技術が実現すれば、戦争で亡くなる人はいなくなるんだよ。

(一呼吸おいて)

そろそろ、彼女は、その時代に向かって、楽しそうに成田空港に着く頃だね。

## 12. 成田空港に着きリムジンバスから降りて、空港の中に入って行くリサの後姿（動画）の上に、コメントが流れる。

(主題歌が流れる)

彼女が世界を変えるのか、  
世界は、武器の無い新しい世界を迎えるのか、  
その時、世界ではどんな新しい歴史が始まるのか、  
あるいは、彼女にどのような危険が、

そして、彼女はこれから・・・

13. エンディング・ロール      -おわり-